

経済・金融 フラッシュ

ワシントンG7(4/24):

年内に世界経済は回復開始、ただし先行きには慎重

経済調査部門 主任研究員 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail: yyajima@nli-research.co.jp

1. 年内に世界経済は回復開始、ただし先行きには慎重、その他の項目は G20 から進展なし:

7カ国財務相・中央銀行総裁会議(G7)が4月24日ワシントンで開かれた。

世界経済の現状について、「最近のデータには、我々の経済の景気後退速度の鈍化やいくらかの安定化の兆候を示すものも出てきている」と世界経済の急激な悪化がここに来て緩やかになっているとの認識を示した。また先行きについては「経済活動は今後本年内に回復を開始するであろう」と金融危機が始まっていたら初めて回復を声明文の中に盛り込んでいる。ただし、先行きの記述については「下方リスクは継続している」と慎重な言い回しとなっている。

与謝野馨財務・金融・経済財政担当相も声明について、「景気後退はしているが、その速度が鈍化しているという消極的な言い方だ。疑問符付きの表現で最悪期から脱したかもしれないということを間接的に表現したもの」と説明するなど各国ともに先行きについては慎重な発言を強調していた。

今回のG7は、4月3日にG20が開催されたばかりであり大きな進展はもともと期待されていなかった。実際声明文を比較すると、G20から景気認識部分だけ進展があったが、あとの項目はG20での合意点を列挙したに過ぎなかった。

7カ国財務大臣・中央銀行総裁会議声明のポイント

G7の財務大臣・中央銀行総裁は、数十年来で最も深刻かつ広範な景気後退と金融混乱の中、本日会合した。世界の様相は、つい数年前までの力強い成長、新興市場国への資本フローの急速な拡大、貿易の大幅な拡大の時期から、現在の景気後退、レバレッジの減少及び貿易の縮小に特徴付けられる時期へと一変した。我々は、成長を支え、金融システムの信認と信用供給の流れを回復するため、断固として行動してきた。最近のデータには、我々の経済の景気後退速度の鈍化やいくらかの安定化の兆候を示すものも出てきている。経済見通しは引き続き弱中、経済活動は今後本年内に回復を開始するであろうが、下方リスクは継続している。ロンドンにおいて首脳たちが強調したように、我々は雇用と成長を回復し、今回のような規模の危機の再発を防ぐため協調して行動することにコミットする。こうした背景のもと、

- ・ 我々はマクロ経済支援策を迅速に実行しており、成長を回復するために必要な規模の継続した財政努力を行うことへのコミットを再確認した。我々は、長期的な財政の持続可能性を保ちつつ、成長トレンドへの回帰を加速するために必要なあらゆる行動をとる。我々はIMFに対し、とられた行動をモニターし、我々とG20に定期的に報告するよう求める。
- ・ 我々は、貸出を回復し、流動性支援を提供し、金融機関に資本を注入し、預金を保護し、不良資産を処理するため、必要に応じ、引き続き行動する。我々は、システム上重要な機関の健全性を確保するために必要なあらゆる行動をとるとのコミットメントを再確認する。

- ・我々はIMFのための資金をプレッジしており、IMFが世界の金融の安定回復を支援する上で必要とする資金を提供するため、G20などと協働している。我々は、世界的な景気後退が新興市場国及び途上国に与える影響を緩和するため、国際開発金融機関の融資の大幅な増加と、そのバランスシートの最大限かつ例外的な活用を支持する。
- ・我々は特に、IMFへの当面のバイの融資の動員についてなされた進展を歓迎。このバイの融資は、IMFの新規借入取極(NAB)にいずれ組み入れられ、NABは最大5000億ドル増額され、その参加国が拡大される。我々は、2500億ドルのSDR一般配分の実行、及び、IMFの新歳入モデルと整合的な形で、合意された金売却による追加的資金の最貧国支援への活用に向け作業を進めている。我々は、貿易金融支援に少なくとも2500億ドルを供給するイニシアティブを実行している。
- ・我々は、強固なファンダメンタルズを有する国の危機への対処を支援するフレキシブル・クレジット・ライン(FCL)のような新たな融資制度のIMFによる導入を歓迎し、メキシコ、ポーランド及びコロンビアによるその利用を支持する。我々は、現下の危機の中において、中期的に堅固な財政見通しを有する国の財政ニーズを支援するため、IMFがその権限と整合的な形でその資金を場合に依り利用することを支持する。我々はまた、IMF、世界銀行及び地域開発金融機関が密接に協働し、借入国が直面している、銀行の資本増強や債務借換円滑化の必要性といった特別な状況を注意深く分析し、プログラムにおいてこれらを考慮することを支持する。
- ・我々は引き続き、投資あるいは物及びサービスの貿易に対する新たな障壁を設けず、新たな輸出制限を課さず、WTOと整合的でない輸出刺激策をとらない。WTOはこのコミットメントについて監視し、公表される形で報告を行う。

今や多くの国々が世界経済において主要な役割を果たしており、我々はそれらの国々による、回復を促進させる共同の国際的取組みへの貢献を歓迎する。我々は、中国のより柔軟な為替レートへの移行に対する継続したコミットメントを歓迎する。これは、実効ベースでの人民元の継続した増価をもたらすとともに、中国経済及び世界経済全体のより均衡の取れた成長の促進に寄与する。我々は、他の国際的パートナーと協働して、国際金融機関の適切性、有効性及び正統性を高めるため、これらの機関のガバナンスを改革する。

我々は、強固かつ安定した国際金融システムが我々の共通の利益であることを再確認する。為替レートの過度の変動や無秩序な動きは、経済及び金融の安定に対して悪影響を与える。我々は、引き続き為替市場をよく注視し、適切に協力する。

我々はまた、各国及び国際的レベルでの規制の改革について議論した。我々は、ロンドンにおけるコミットメントを迅速に実施する。我々は、システミック・リスクに対処するための各国の取組みを強化すること、すべてのシステム上重要な機関、市場及び商品を含むよう規制の範囲を拡大すること、健全な規制、金融機関の十分な資本増強及び強化されたリスク管理慣行を確保すること、透明性を向上すること、国際的な協働を強化すること、評価及び引当てに関する会計基準を改善すること、及び市場の公正性を強化すること、の必要性を強調した。これに関連して、我々は、OECD、金融安定理事会(FSB)及び金融活動作業部会(FATF)に対し、租税、健全性監督、及び資金洗浄・テロ資金対策のそれぞれにおける国際基準を強化するための各国の取組みに関する客観的なピア・レビューの作業を強化するとともに、非協力的な国・地域を特定し、効果的な対抗措置の道具立てを整備するよう促す。我々はこれらの事項に関する進展につき定期的な報告を期待する。我々は、IMFとFSBの共同による試行的な早期警戒の取組みを歓迎した。我々はまた、FSBの参加国拡大を歓迎するとともに、FSBが国際金融の安定性促進により大きな役割を果たしうよう、その組織的な基盤を強化することにコミットした。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。